



東武動物公園 ニュースリリース

動 21-2 号
2021 年 4 月 22 日

40年間、元気でいてくれてありがとう！
これからもずっと一緒によろしくね！

アフリカゾウのアイちゃん・キョウコちゃん サポーターグッズ販売開始!!

東武動物公園(東武レジャー企画㈱ 埼玉県宮代町 社長:伴光雄)では、1981年3月の開園より40年にわたり飼育・展示を行っているアフリカゾウの「アイ」ちゃん、「キョウコ」ちゃんのサポーターグッズを5月1日(土)よりオンラインショップにて販売します。

当園は、2019年12月に入園者数の累計が5000万人を突破し、2021年3月28日には開園40周年を迎えることができました。これもひとえに開園以来、ご来園いただいた多くのお客様のご愛顧と、ご支援くださるすべての皆様のご理解、ご協力によるものと深く感謝いたします。今後も皆様のご期待に沿うべく、より一層の努力を続けて参ります。

今回のサポーター企画は、当園で飼育する約120種の動物たちの中で唯一、開園から現在に至るまで、40年間で5000万人以上のお客様に元気で喜び、癒しを与えてくれたアフリカゾウの「アイ」と「キョウコ」に、この先10年、20年…と末永く元気で過ごしてほしいという願いを込め計画しました。サポーターグッズの売上は、種の保存に貢献できるよう、動物福祉に配慮した飼育環境の整備に役立てていきます。

■アフリカゾウについて

2021年3月25日に国際自然保護連合によって、「危急種」から「絶滅危惧種」に指定改定されました。ワシントン条約では動物の輸出入に厳しい制限がかけられており、希少動物の新規導入は困難であり、東武動物公園にとって、現在飼育している「アイ」と「キョウコ」が最後のアフリカゾウになってしまう可能性が高い状況です。

なお、全国では当園を含め15施設29頭のアフリカゾウを飼育しています。



【奥:アイ/手前:キョウコ】

■サポーター企画について

昨年、当園は、新型コロナウイルスの影響により、長期の臨時休園や夏季プール営業の入場規制など、様々なイベントの自粛が続き、思うように集客ができない一年でした。

その中、2020年6月に開設したオンラインショップでは、“東武動物公園応援プラン”と題し、ご購入いただいたグッズの売上を動物たちのエサ代として使用させていただき取組みをはじめました。動物たちの生活維持に必要なエサ代は年間約 4,500 万円かかりますが、多くの皆様にご支援いただき、2021年3月までの売上金額は、約 2,100 万円となりました。

今回のサポーター企画は、応援プランの第2弾として、ご購入いただいたサポーターグッズの売上は、諸経費を除いた全額をアフリカゾウのエサ代をはじめ、飼育備品の購入や展示場の環境整備に使用させていただきます。

アフリカゾウのアイちゃん・キョウコちゃん サポーターグッズ概要

【販売日】2021年5月1日(土)～

【金額】5,000円プラン(Tシャツ付き)
3,000円プラン(トートバック付き)
2,000円プラン(ピンバッジ付き)

【購入方法】東武動物公園オンラインショップ(外部サイト:フクヤオンラインショップ)

https://www.fancy-fukuya.co.jp/shop/products/list.php?category_id=22

※商品のお届けは6月下旬以降を予定しております。



サポーターグッズの売上使用用途について

サポーターグッズの販売にかかわる諸経費を除いた金額は、飼育備品や設備、展示場の改善に使用させていただきます。アフリカゾウの「アイ」と「キョウコ」がより良い快適に生活できるよう、今回の企画では3つの改修計画を構築中です。

■1stステップ:暑さ対策のための放水器具の設置【費用規模:約150万円】

近年の記録的な猛暑の影響により、動物たちへの暑さ対策が毎年課題となっている中、アフリカゾウについては、猛暑日には体温を下げるために定期的にホースにて水浴び・水飲みを行っています。

今回の計画は、タイマーによる自動放水や、これまでより多い水量を全身に浴びることが可能な設備を導入します。

■2nd ステップ:寒さ対策のための温水ボイラーの新規導入【費用規模:約300万円】

現在寒さ対策のため、夜間にアフリカゾウを収容する寝部屋内には蒸気で部屋を暖める温水ボイラーが設置され、温度管理を行っています。

今回の計画は、老朽化が進んでいる温水ボイラーを、より機能性の高いものに交換し、冬季期間の体調管理に役立てます。

■3rd ステップ:展示場の整備、改修【費用規模:約500万円】

展示場は、アフリカゾウの足への負担を軽減するため、地面の砂の敷き直しを定期的に行っています。今回の改修計画では、足元の環境整備に留まらず、直射日光を避けられる日陰整備など、暑さ対策の一環として展示場の改修を行います。

「アフリカゾウ舎」の改修計画については、3つの内容のほか、高齢化にともなう運動不足を解消するための改修や、健康診断などの体調チェックを行えるような設備導入などにも今後取り組んでまいります。

アフリカゾウ「アイ」・「キョウコ」について



アイ(推定42歳・体重5t)

【特徴】

- ・牙が長く、顔や体が丸みを帯びている
- ・神経質な性格で、人をよく見ている
見慣れない人がバックヤードに入るとちょっかいを出し反応を見る
- ・花火や雷が苦手



キョウコ(推定42歳・体重5t)

【特徴】

- ・自分の牙を折る癖があるため、アイちゃんに比べて牙が短い
- ・右の耳たぶに穴が開いている
- ・滅多に怒らない

アフリカゾウの「アイ」と「キョウコ」は、東武動物公園の開園に合わせ、1980年10月にアメリカより来園し、当時は推定2歳・体重およそ1tの可愛らしい子供のゾウでした。また、まだ体が小さい頃は、同じ敷地内で暮らしていましたが、成長するにつれて段々と体も大きくなり、現在は別々の部屋で暮らしています。

アフリカゾウ舎は、動物園のメインストリートに位置しており、園に訪れたお客様が必ず展示場の前を通ることから、5000万人以上のお客様にご挨拶をしてくれているのではないのでしょうか。



【開園当初のアイ(左)とキョウコ(右)】



【真夏に大好きな水浴びをするアイとキョウコ】



【エサが欲しい時にする“ちょうだいポーズ”をするキョウコ】

■アフリカゾウについて

知能もかなり高く、地上で最強の動物と言われているが、普段はおとなしく静かな性格。仲間意識が強く、外的に襲われて傷ついた仲間を群れて助けようとしています。野生のアフリカゾウの主食は、草の木の枝葉、果実など1日に130～150kgを14～18時間かけて食べますが体重と比べると小食です。目がよくない代わりに鼻と耳がよく、人間には聞こえない低い声で10km先の仲間と会話ができると言われているほか、大きな耳は放熱や体温調整の役割を果たします。寿命は50～60歳で、私たち人間と同じくらいです。

東武動物公園応援プラン(第1弾企画)について

東武動物公園で暮らす動物たちの1頭あたり1日に食べるエサと量が分かる、可愛いイラストがデザインされた「T シャツ付き応援プラン(5,000 円)」と「トートバック付き応援プラン(3,000 円)」を販売中です。また、東武動物公園のマスコットキャラクター・トッピーからの「メッセージカード付き応援プラン(1,000 円)」の販売も行っています。



【応援 5,000 円プラン(T シャツ付き)】
白/黒(S・M・L・XL・100・120・140)



【応援 3,000 円プラン(トートバック付き)】

※掲載内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110
東武レジャー企画株式会社 業務部 中嶋・前田・白石・鈴木
TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>